

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 島原市

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額 C	標準財政規模 A+B+C
5,316	5,325	472	11,113

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	18,876	18,489	387	218	308	18,947	
一般会計等	18,876	18,489	387	218		18,947	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業	437	425	11	179	3	2,476	64	法適用企業
温泉給湯事業	82	81	1	1	24	0	0	法非適用企業
安中地区土地区画整理事業	72	27	45	108	0	56	0	法非適用企業
有明町簡易水道事業	133	130	3	3	21	18	9	法非適用企業
国民健康保険事業	7,051	6,873	178	178	385	0	0	
後期高齢者医療	490	480	10	10	147	0	0	
老人保健	811	705	106	106	44	0	0	
交通災害共済事業	12	11	0	0	4	0	0	
公営企業会計等 計				585		2,550	73	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
島原地域広域市町村圏組合(普通会計)	2,124	2,106	18	18	26	760	0	一般会計、ふるさと市町村圏事業特別会計
島原地域広域市町村圏組合(その他事業会計)	15,456	14,863	593	593	0	0	0	介護保険事業特別会計
長崎県市町村総合事務組合	17,245	17,145	100	100	1,114	0	0	
県央県南広域環境組合	3,245	2,862	383	383	461	12,571	2,453	
南高北部環境衛生組合	286	271	15	15	17	2,402	501	
南高北東部環境衛生組合	76	73	4	4	0	0	0	
長崎県後期高齢者医療広域連合	161,549	159,702	1,847	480	1,289	0	0	
一部事務組合等 計				1,593		15,733	2,954	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
(財)島原城振興協会	11	86	1	0	0	0	0	0	
(財)島原市教育文化振興事業団	0	11	10	17	0	0	0	0	
島原市土地開発公社	△19	466	5	0	0	0	0	17	
地方公社・第三セクター等 計			16	17	0	0	0	17	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算・A	平成20年度 決算・B	差引 B÷A
財政調整基金	906	617	△ 289
減債基金	1,088	1,093	5
その他充当可能基金	4,291	4,293	2
充当可能基金計	6,285	6,003	△ 282

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算・A	平成20年度 決算・B	差引 B÷A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算・A	平成20年度 決算・B	差引 B-A
実質赤字比率	4.26	1.96	△ 2.30	△ 13.17	△ 20.00	水道事業	—	—	—
連結実質赤字比率	11.13	7.24	△ 3.89	△ 18.17	△ 40.00	温泉給湯事業	—	—	—
実質公債費比率	8.2	8.7	0.50	25.0	35.0	安中地区土地区画整理事業	—	—	—
将来負担比率	33.3	30.9	△ 2.40	350.0		有明町簡易水道事業	—	—	—
財政力指数	0.48	0.47	△ 0.01						
経常収支比率	98.9	94.2	△ 4.70						

- (注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△～)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。